

地震

的確に情報入手し 落ち着いて行動しましょう

地震の揺れと被害想定について確認しておきましょう

・「気象庁震度階級関連解説表（抜粋）：平成8年2月」

震度0

人は揺れを感じない。



震度1

屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。



震度2

屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。



震度3

屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。棚にある食器類が音を立てることがある。



震度4

眠っている人のほとんどが目覚ます。つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。



震度5弱

多くの人々が、身の安全をを図ろうとする。窓ガラスが割れて落ちることがある。



震度5強

多くの人々が行動に支障を感じる。タンスなど重い家具が倒れることがある。



震度6弱

立っていることが困難になる。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。



震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。戸がはずれて飛ぶことがある。



震度7

揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり、大きく破壊するものがある。



地震が発生・そのときの行動

家の中にいるとき

とっさにテーブル
や机の下に身をかく
す



落ち着いて火の始末



家具を固定するなど
室内の工夫と確認を
しておく



外出先では

ビルの窓ガラスや看板
が落下することがある
ので、すぐに離れる



ブロック塀や自動販
売機のそばには近づ
かない



落石の危険があるの
で、崖の近くからす
ぐに離れる



切れた電線には近づ
かない



海岸でグラッときたら
すぐ高台に避難する

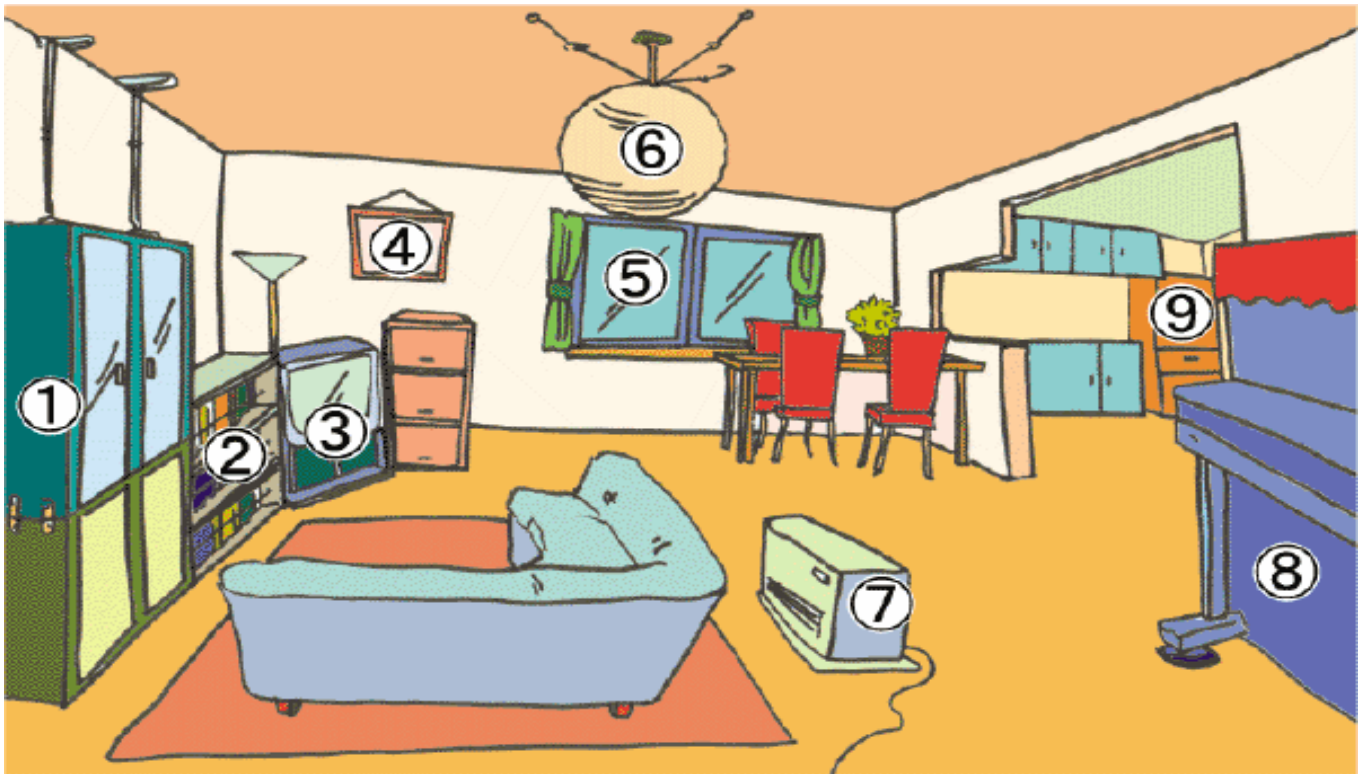


正しい情報に従って
行動する



(気象庁パンフレットより)

部屋の中の安全対策を考えてみましょう



「タンス・棚」

背が低く、奥行きのあるものにしましょう。2段重ねのものは上段と下段のつなぎ目を金具で連結して、両開きタイプのものは扉が開かないように止め金具を付けましょう。

「本棚」

重い本を下段に入れ安定させます。すきまがあるときはブックエンドなどを活用します。

「テレビ」

家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に固定して置きましょう。

「額縁」

チェーンや金具でしっかり固定しましょう。

「窓」

夜はカーテンを引いて就寝しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを張ります。

「照明器具」

つり下げ式の照明器具は、チェーンと金具を使って数箇所止めましょう。

「暖房器具」

ストーブは耐震自動消火装置付きのものを使用しましょう。

「ピアノ」

本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結し、しっかりと固定しましょう。脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。

「冷蔵庫」

転倒防止用の専用ベルトで扉の間を胴巻きにして転倒を防止しましょう。